



西國立志編

原名  
自助論

第四冊

113  
874  
4



13  
874  
4

自助論第四冊目錄

第五編 幫助即機會ヲ論ス及ビ學術ヲ勉修スルヲ

論々

- ① 大功效 ハ偶然撞着シテ得ルモノニ非ズ
- ② 大人ハ小事ヲ藐忽ニセザル事 シキアタリ
- ③ 牛董及ヒ雍ノ發明ハ偶然ト稱シガタシ ニヒトシ
- ④ 觀察ニ聰慧ナルヲ智者ト稱スベシ
- ⑤ 加利列窩搖錘ヲ創造スル事 ガカリレフベシトナラズ
- ⑥ 伯拉温鐵懸橋ヲ造リ及ビ伯路涅爾參迷士河底ノ地道ヲ造シ事 ブラウエン
- ⑦ 哥倫布海藻ノ浮ルヲ視テ新世界ノ近ヲ知ル事 コロムバス
- ⑧ 小事ノ力

自助論第四冊目錄

- ⑨ 弗蘭克林及ビ噯喇法尼電氣ノ理ヲ查出セシ事
- ⑩ 吳士德蒸氣ノカアルヲ悟リシ事
- ⑪ 機會ヲ拿着シ機會ヲ造ル説
- ⑫ 有名ノ工人粗陋ナル器具ヲ用タリシ事
- ⑬ 李偶然ノ事ヨリ學ニ志セシ事
- ⑭ 斯東ノ名言
- ⑮ 斯格的何事ヲ爲ニモ機會ヲ看出セシ事
- ⑯ 普理斯上禮年四十始テ化學ニ志セシ事
- ⑰ 大未手ニ隨フ物ヲ器具トナシテ經驗ヲ做シ事
- ⑱ 發拉第偶然ノ事ヨリ化學ニ志セシ事
- ⑲ 大未ノ記簿ニ書載タリシ語
- ⑳ 古未耶偶然ノ事ヨリ本草學ヲ勉シ事

- ㉑ 瓦德士提反孫達爾東機會ヲ失ズシテ業ヲ勉シ事
- ㉒ 零碎ノ光陰集リテ極大ノ價值トナル事
- ㉓ 名士零碎ノ光陰ヲ集テ大業ヲ成タル例ヲ舉グ
- ㉔ 光陰ノ貴ズベキ事
- ㉕ 古人著述ノ業ニ勞苦セシ事
- ㉖ 筆録及ビ抄寫ノ益
- ㉗ 戎翰他鈔録ヲ勤シ事及ビソノ他勉強ノ事
- ㉘ 翰他物ノ定タル情形ヲ忽ニセズシテコレヲ熟察セシ事
- ㉙ 巴禮ノ事
- ㉚ 厚倍血ノ運行ヲ發明セシ事
- ㉛ 日納爾牛痘ヲ發明セシ事

⑤ 白爾神經ノ理ヲ研究セシ事

⑥ 荷爾神經病ノソノ根ヲ肢體ヨリ發スルモノヲ發

明セシ事

⑦ 黑爾舌新行星ヲ始テ看出シ事

⑧ 維廉斯密士察地學ニ長ゼシ事

⑨ 休彌爾列爾觀察ノ才アリシ事

斯邁爾斯自助論 一名西國立志編

第五編 幫助即チ機會ヲ論ス 并ニ藝業ヲ勉修スル

ヲ論ス

羅馬人ノ語ニ曰ク機會ハ機會ヲ生キタル人類ニモアリ  
テソノ後面ハ秃セリ人モソノ前頭ノ髮ヲ捉拿ス  
レバ彼ヲ抱住スルコトヲ得ベシ然レニ一たび彼ヲシテ  
逃走セシメタランニハヂユヒター  
神ノ名ト雖モ再ビ  
彼ヲ擒獲スルコト能ザルベシ

① 大功效ハ偶然撞着シテ得ルモノニ非ズ

偶然ノ事ハ生平勉強シテ成就セルモノニ比スレバ什分  
ニシテ一モアラス是故ニ僥倖シテソノ事ヲ善セント欲  
スルハ危キ道ナリ勉強シテ心ヲ用ルコト實ニ旅行スベキ

維氏英國  
人正德二  
年生天明  
二年没

\*Wilson

自序第五編  
平坦ノ通衢ナリ。山水ノ画工維爾孫ハソノ画ヲ作ニ當リ。  
始ヨリ終ニ至マテ尋常ノ法則ニ從ケルガタツノ成就  
セントスルノ前ニ至リ其画ヨリ退キ離レ筆ヲ長條ノ頭  
ニ定着シ久クソノ画ヲ注視セル後忽然トシテ進ミ二  
三箇ノ點染ヲ加フコニ於テハ功成就シテ神妙ノ画  
ト稱セラル然レコレ人々ノ能做得ベキコニ非ズカクハ  
如キ活潑ナル手段ハ畢生ハ功カヲ用ルニ非レハ得ラル  
ベカラズモ拙工ヲシテカクノ如キコヲ試ミナハ恐ハ  
ソノ画ヲ點忍シ看ルニ堪ザラシムベシ。  
(二)大人ハ小事ヲ蕪忽セス  
勤苦シテ心ヲ用ルハ藝業ヲ修ル者ノ真成ノ方法ナリ。  
小事ヲ輕忽スルモハ大人ニ非ズ大人ハ小事ニ於テ最

安日洛文  
明六年生  
永祿七年  
歿

\*Michael Angelo

モ能心ヲ用テ修善スルモノナリ。彌開爾安日洛ハ意大利  
有名ノ雕像工画工建造工ナリ。嘗テ客アリテソノ工舖ニ  
來リソノ一ノ石像ヲ造リ成タルヲ見タリシガソノ後客  
再ビ來リタルニ安日洛ナホ嚮ノ石像ヲ修居タリ客怪テ  
初度來訪セシ以來何ナル事ヲ爲レシヤト問ケレバ安日  
洛ソノ像ヲ此彼ト指テ予コノ所ヲ再ビ修タリコノ所ヲ  
礎タリコノ形ヲ柔ニシタリコノ筋ヲ露セリコノ唇  
ニ言語ヲ與タリコノ手ニカヲ添タリトイヘバ客曰ク然  
ドモコレ皆瑣小ノ事ノミト安日洛マタ答テソレハ然モ  
アルベシ然ドモ瑣小ノ事ハ全美ノ功ヲ成ス而シテ全美  
功ハ瑣小ノ事ナラズト云ヘリシトナリ。法國ノ画工居  
格拉士保中平生ソノ爲トコロノ規則ニ凡ソ爲トコロノ

自序第五編

二

事心ヲ盡シテ善コレヲ爲スト云リ。晚年ニ及デソノ友何ニ由テ君ハ善画ノ名ヲ得玉ヒシヤト。保申ニ問ケレバ。我ハ決シテ一事ヲモ輕忽ニセザリシ故ナリト答ケルトゾ。

三 牛董及ヒ雍ノ發明ハ偶然ト稱シガタシ

古ヨリ偶然ニ某ノ事ヲ發明セリト云フアリ。然レモ子細ニコレヲ考レバ。實ニ偶然ナルコトハ甚ダ少シ。蓋シ偶然ト云フハ。大抵ハ特ニ細心ヲ以テ考察セルモノハ。一旦解悟スル機會ノ至ルモノナリ。牛董ノ足邊ニ菓實ノ墜タルコトハ。人常ニ偶然發明スルコトノ証據トナシテ。諸書ニ引用レド。ソノ實ハ然ラズ。牛董多年ノ間。久ク重力ノ事ヲ考究シ。勉強勞苦ヲ積タリケレバ。樹菓ノ目前ニ墜ルヲ見テ。忽チ能ソノ理ヲ悟リ得テ。前人未開ノ祕奧ヲ發セリ。コレト同

ク。石鹼ノ水ヨリ湧起スル泡沫ノ五色燦爛ナルヲ見テ。學士雍ハコレニ由テ光線斜行ノ理ヲ悟リ。凡ソ牛董雍ノ如キ大家ハ。世俗ニテ特ニ大事ヲ學習スルトハ。心思ヲナレド。ソノ實ハ最モ目前陳腐ノ事最モ平近ハ證ヨリシテ。極大緊要ノ理ヲ查出セリ。所謂大事ト稱スルモノハ。多ハソノ理ヲ善ク解説シ。小ヨリシテ推シテ大ニ至ルモノナリ。

四 觀察ニ聰慧ナルヲ智者ト稱スベシ

人ニ智愚大小ノ異アルハ。大抵ハソノ事物ヲ觀察スルニ聰慧ナルト。聰慧ナラザルトニアリ。俄羅斯ノ諺ニ。彼人ハ樹林ノ中ニ行ドモ。薪ヲ見ズト云ルハ。觀察スルコトヲ解セザル一種ノ人ヲ指テ言ルモノナリ。所羅門ノ往古以色列曰ク。智者ノ眼目ハ。ソノ頭ノ中ニ在リ。愚人ハ黑暗ノ中ニ行

歩スト云リ。學士戎孫嘗テ新ニ意太利ヨリ歸ル人ニ向テ。人或ハコノ舍伯斯的德ニ在テ。他人ノ歐羅巴ヲ巡遊スルモ、ハヨリ却テ多學ビ知ルモノアリト云リ。能物ヲ見ルハ眼目ノミニアラズ。心靈マタヨク物ヲ觀ル。是故ニ思想ナキ人ハ一物ヲモ認得ザル地ニ於テ。智者ハソノ前ニ顯ハルハ物ヲ觀察シ。ソノ根株ニ徹シ。仔細ニ分別シ比較シテ新意ヲ發スルコトナリ。イマ加利列窩伯拉温伯路涅爾哥倫布ノ事ヲ引テ。コレヲ證スベシ。

\*Galileo

加氏以太利人永祿七年生寛永十九年歿

加利列窩ヨリ以前ノ人ト雖モ懸タル物ノ同ジ速ニ搖擺スルヲ見タルモノ多アルベシ。然レコノ實事ノ用アルヲ查出セルモノハ。加利列窩ヲ始トス。加利列窩畢撒ノ寺

五加利列窩搖錘ヲ創造セル事

院ニ在テ。一日寺院ノ人。屋檐ニ掛ル燈ニ油ヲ添ケルガツノマ、ニ棄置ケレバ。燈ハ搖動シテ已ザリケリ。加利列窩コノ時僅ニ十八歳子細ニコレヲ注視シケルガ。コレニ由テ遂ニ搖擺器ヲ用テ時ノ遲速ヲ測リ得ベシト。心ニ想ヒ起セリ。然レドモ。コレヨリ後五十年ノ勞苦學習ヲ經テ。ソノ搖擺器始テ十分ニ成就シテ。時限ヲ測リ。天文ヲ算スル必用ノ器トハナリニケリ。

加利列窩嘗テ和蘭ノ眼鏡ヲ造ル工人。隔遠ノ物ヲシテ近ク見セシムル一種ノ器ヲ新ニ造リ。納瑣ノ伯摩律西ニ獻スト云フ。偶々聞レバ。ソノ理ヲ考察シテ。遂ニ千里鏡ヲ創造セリ。コレヨリシテ。星象ヲ明ニ察スルヲ得テ。今世天學ノ基礎ヲ立タリ。凡ソカクノ如キ發明ハ。心ヲ留ズシ

\*Brown. †Brunel.

テ。物。ヲ。見。ル。人。及。ビ。心。ヲ。用。ス。シ。テ。言。ヲ。聞。ク。人。ニ。ハ。決。シ。テ。爲。得。ザ。ル。ヲ。ナ。リ。

六 伯拉温鐵懸橋ヲ造リ。及伯路涅爾參迷士河底ノ地

道ヲ造リシ事。

伯拉温ハ。土維德英蘇ノ間ニ。傍近ニ住シケリ。費用多カ  
ラズシテ。橋ヲ架スベキ手段ヲ考ケル時。一日拂曉ニ園中  
ニ歩シケルガ。偶小サキ蜘蛛ノ糸ソノ行トコロノ路ニ當リ  
テ。横ニ懸タルヲ見テ。忽チ想起セルハ。鐵繩或ハ鐵鎖ヲ以  
テ。カクノ如キ方法ニ作りタラバ宜シカラントコレヨリ  
シテ。遂ニ鐵懸橋ヲ造ルヲ得タリ。○瓦德嘗テ古來德國蘇  
大。河。ヨリ。管ヲ以テ水ヲ引上ニ。考ケル時。一日案上ニ  
龍蝦ヲ薦メケレバ。コレヨリ新意ヲ發シ。ソノ皮殼ニ倣ヒ

\*Columbus.

鐵管ヲ造リ。遂ニソノ志ヲ達セリ。○伯路涅爾ノ參迷士河  
底ノ地道ヲ造ル。ハ。船ヲ蠹蝕スル小蟲ヨリ教ヲ受タリ。  
嘗テコノ一。小蟲ソノ強キ頭ヲ以テ。船材中ニ百方鑽透シ。  
拱廊ノ如キ路ヲ成就シ。然後漆ノ如キモノヲ以テ。四方上  
下ヲ塗リ。ソノ中ニ住スルヲ觀タリケレバ。ソノ式樣ニ倣  
ヒ。特ニ規模ヲ大ニシテ。遂ニ河底ノ地道ヲ造リ。ソノ功ヲ  
成就シケリ。

七 哥倫布海藻ノ浮ルヲ視テ新世界ノ近トヲ知リシ事

慧眼ヲ以テ善ク物ヲ觀察スル人ハ。些微ニシテ緊要ナラ  
ザルガ如キ目前ノ物ヲシテ貴重ノ用トナサレムルヲナ  
リ。哥倫布新世界ヲ查出セント志シ。海ニ航シ。西ニ向テ行  
ケルガ。久ニ及マデ土地ヲ見得ザリケレバ。水手ノ輩糧食



ノ盡トヲ怕レ。哥倫布ニ背キ。棹ヲ返サント罵リ騷ケルト  
 キ。哥倫布偶々船ニ近ク海藻ノ浮流ルヲ見テ新世界ノ  
 既ニ近トヲ知ル明證トナセリコレニテ至小ハ物能絶大  
 ハ用ヲ爲トヲ見ルベシ。サレバ天下ノ事物至テ微小ナリ  
 ト雖モ。猿忽ニスベカラズ。子細ニ解明シテ有用ノ實証ト  
 ナスベキナリ。嗚呼アルビランハ峭立セル白石巖ハ沙虫ハ  
 白。凝ヨリ成立タルモハナリ。ソノ沙虫ハ。顯微鏡ヲ以テセ  
 ザレハ。認得ルヲ能ス。珊瑚嶋ノ海ヲ飾ルモノハ。亦沙虫ニ  
 シテ。所謂珊瑚虫ト云ル無數ノ生物ノ。殼ナリ。極小ハ物ヨ  
 リシテ。かくハ如キ非常ハ。結菓ヲ成トヲ觀ルトキハ。豈小  
 物ハ。忽ニスベカラザルトヲ知ルニ足ラズヤ。

八 小事ノ力

\*Apollonius Pergaeus.

小事ヲ精密ニ觀察スルトハ。職務ニ於テモ。學問藝術ニ於  
 テモ。人生各般ノ事ニ於テモ。功績ヲ奏スルトノ秘訣ト云  
 ベシ。蓋シ世上ニ在トコロハ。學識知見ハ。古ヨリ今ニ至マ  
 デ。小々ナル實驗ハ。土塊次第ニ積ミ重ナリテ。巨大ナル尖  
 塔ニ至ルモハナリ。縦ヒコレ等ノ小事始ニ於テハ。無益ナル  
 ガ如クニ見ユレド。終リ至テ。眞實ノ益ヲ成シ。當然ノ用ニ應  
 マルトナリ。且此ノミナラス。億度思想ノ迂遠ナルガ如キ  
 モノモ。後來實用ノ根柢ト爲ルモノ。多シ。紀元前二百年前  
 希臘ノ亞。攆羅牛士。巴奇士ト云ルモノ始テ尖圓形ノ測法  
 ヲ查出セシモ。ソノ當時ニ在テハ。有用ナルトヲ覺ザリシ  
 ガ。後人コレヲ修明シ。天學ノ根柢トナリテ。今日航海スル  
 者ヲシテ。コレニ由テ。未ダ前知セザル洋海ニ進ミ往キ。天

弗氏彌利  
堅人宝永  
三年生寬  
政三年歿  
噶氏以太  
利人元文  
二年生寬  
政三年歿

\* Franklin + Galvani

上ヲ踪迹シ。路程ヲ錯ラズシテ。ツノ期スルトコロノ港ニ  
達スルヲ得セシムル最要ノ學術トハナリニケリ。  
九 弗蘭克林及噶喇法居電氣ノ理ヲ查出セシ事  
弗蘭克林電トイレクトリシテイ 電氣ノ物中ニ具トノ同一  
ナルヲ始テ發明シタル時世人ニ笑レタリ。或人コノ發  
明何ノ用ヲ爲ヤト問ケレハ。弗氏對テ小兒ハ何ハ用ヲモ  
爲マシ。然レモ後ニハ大人ト成ルナリト答レトナリ。噶喇  
法居偶死蛙腿上ニ二種ノ金類ヲ置タレバ。跳躍シテ生ル  
ガ如クナルヲ見タリケルガ。コレニ由テ。二金交感ノ理ヲ  
發明セリ。カクノ如キ瑣々タル事ト雖也。後來遠人ノ意想  
ヲ通ズル電氣通標ハ。コノ中ニ已ニ胚胎セシナリ。今ヨリ  
後多年ヲ經ズシテ。全地球ヲ帶ノ如クニ環ルニ至ルベキナリ。

\* The marquis of Worcester

サレバマタ地ヨリ穿出セル種々ノ石類ノ小屑ト雖也。善  
コレヲ鮮明スルニ由テ。地成ノ理ヲ察スル學科コレヨリ  
シテ生ジ。礦山ニ於テ工業ヲ做スノ實益トナリ。都邑コレニ  
由テ飾ヲ増シ。人民コレニ由テ工銀ヲ得テ。産業ヲ營モノ  
ソノ數甚多ニ至リ。  
十 吳士德蒸氣ノカアルヲ悟シ事  
今夫礦山ヨリ水ヲ抽出シ。工場ニ於テ人力ニ代ヘ。海陸ニ  
於テ舟車ヲ推進ル巨大ノ機器ト雖也。ソノカノ自テ出ル  
トコロノ本ハ。特ニ滴水ノ熱ニヨリテ漲開シテ作用ヲ生  
スルニ過サルハ。ミコノ事ハ。吾等毎日茶釜ノ口ヨリ吹出  
スヲ見テ。最モ陳熟シタルナリ。然レ工妙ナル器中ニ塞  
住スルトキハ。許多ノ馬力ニ均キカヲ顯シ。波浪ヲ驅斥シ。

自註論第五編

六

颶風ヲ叱咤スルホドノ勢ヲ生ズルコナリ。且地球ニ於テ火山温泉ノ發スル所以並ニ地震ノ起ル所以ハ、マ々特ニ自然ノ蒸氣力。地中ニ在テ作用ヲ生ズルニ由リ相傳フ。吳士德獄ニ囚レシ時。偶一器ハ水ヲ煮ケルガ熱極ニ及テ。ソノ緊蓋吹落サル。ヲ見タルニ由テ蒸氣ノ力アルコトヲ看出シタリト。吳士德後ニ一書ヲ著シ。ソノ發明考究セシコトヲ記シケルガ薩伐禮牛國民等ニ及テ。コレヲ實用ニ試シ。牛氏蒸氣機器ト云ルモノヲ造出セリ。コノ様子藏シテ額拉斯哥ノ學校ニ在ケルガ嘗テソノ脩復ノ事ヲ瓦德ニ命ゼラレケリ。コノ偶然ノ事瓦德ノ爲ニ好機會ト稱スベシ。コレニ由テ瓦德一生ノ精力ヲ盡テ。ソノ機器ヲ十分完全ニ至シメタリ。

十一 機會ヲ拿着シ機會ヲ造ル說

上ニ云ルモノ、如ク機會ヲ拿着シ偶然ノ事ヲ實益ニ轉スルコトハ成效ヲ得ベキ大祕事ナリ。學士戎孫ハ人ノ英才ハ偶然一方ニ向タル大勢力ノ心ナリト云リ。凡ソ人自ラ爲トコロアラント欲シ心意ヲ注バ必ス機會ヲ看出スベシ。若者出ザレバ自ラ機會ヲ造リ出テ得ベシ。然レ學校博物館等ノ藝術ノ盛ナル中ニアル人ニハカクノ如キ機會ヲ拿着スルコト能ス。マ々有名ノ工匠及ビ新器ヲ創造スル人ハ工事ノ學校ヨリ出ルモノナシ。蓋シ窮困ハ創造ノ母ナリ。故ニ古ヨリ順便ノ地位ニ居人ヨリハ窮困ノ人却テヨク大事ヲ成就スルコトナリ。

十二 有名ノ工人粗陋ナル器具ヲ用タリシ事

\* Ferguson.

最モ有名ナル工人最モ粗陋平凡ナル器具ヲ用テ工事ヲ  
試験セリ蓋シ工人ハ器具ニ頼テ成就スルニ非ズソノ自  
己ノ習熟シタル才智ト忍耐ノ力ニ頼ルコナリ故ニ拙工  
ニ善器具ナク良工ニ惡器具ナシ巧拙ハ心手ニアリテ器  
具ニアラサルコナリサレバ或人嘗テ高低ニ向テ何等ノ  
色料ヲ調和シテカ、ル光彩ヲ發スルコトヲ得ラレシヤト  
問ケレバ我ハ吾腦ヲ以テ調和スルナリト答ケリ花俱孫  
木ヲ以テ測時器ヲ造リシガ精巧ヲ究メヨク時ニ合リシ  
カモソノコレヲ造ル器具ハ特ニ一箇ハ修筆刀ノミソレ  
修筆刀ハ各人持トコロノ器具ナレトモ各人ミナ花俱孫  
ニハアラザルナリ學士伯拉克ハ特ニ一鍋ノ水二箇ノ寒  
暑表ニ由テ隱藏ノ熱ヲ始テ發明セリ牛董光ノ湊成スル

一及色ノ原因ヲ發明シタルモ別ニ奇器ニ由ニ非ズ特ニ  
一箇ノ三稜玻璃片一箇ノ中凸玻璃片及ビ一枚ノ厚紙板  
ノ外外國有名ノ學者某嘗テ學士售拉斯敦ニ詣リソノ許  
多ノ發明ヲ爲ル器具ヲ藏セル書室ヲ示シ玉ヘト請ケレ  
バ售拉斯敦諾シテソノ小室ニ導キ案上ニアルトコロノ  
舊キ茶盆ノ中ニ表蓋ノ玻璃試験ノ紙小天平一吹火筒一  
ヲ容タルモノヲ指サシテコレ我ハ有ルトコロノ器具ナ  
リコノ外ニ有ルモノナシト言リ斯ト打徳ハ心ヲ留テ蝴  
蝶ハ翅ヲ學習スルニ由テ采色ヲ合スルコトノ法ヲ悟リ故  
ニ毎ニ予ガコノ小蟲ヨリ力ヲ得タルコトハ世ノ人知ザル  
ベシト言ケリ維爾啓ハ画ヲ學ケルトキ筆ナク布ナシ木  
頭ヲ燒タルモノヲ以テ倉ノ門扇ニ圖ヲ画ガキタリト云

リ、白維克ハ、ソノ小舎ノ壁ニ白灰ヲ以テ圖ヲ画ガキテ學  
習セリ。便若民。物斯的ハ、貓尾ヲ以テ筆ヲ作り、始テ画ヲ學  
シトナリ。花俱孫ハ、天文ヲ學ニ、夜中一燭ヲ田野ニ布キ、自  
ラツノ上ニ卧シ、小珠ヲ貫タル絲ヲ以テ、已ノ眼目ト星ト  
ノ間ニ伸シ張テ、天象ヲ換寫シケルトナリ。弗蘭克林ハ、人  
造ノ電氣ト、空中ノ雷電ト元來一物ナルヲ發明セシガ、  
ソノ試験ノ爲ニ造リ紙鳶ハ、二枝ハ木條ト絹ハ手巾トヲ  
以テ造リシナリ。瓦德ハ、剖屍家ノ用ル水筒ヲ以テ、蒸氣機器  
ノ法子ヲ始テ造リト傳フ。及福德ハ、補鞋工ノ徒弟タリシ  
時ニ、革ノ小屑ヲ打テ滑平ニシ、ソノ上ニ算學ノ問題ヲ始  
テ作り、天學者立天好士ハ、犁ノ柄ヲ以テ、始テ日月蝕ヲ測  
算セシト云傳タリ。

李畧傳見  
第十一編  
第十八章

\*Professor Lee.

†Edmond Stone

⑤李偶然ノ事ヨリ學ニ志セシ事  
最モ平常ナル事人ヲシテ學問ニ志サシムル機縁トナル  
トアリ。學士李ハ、偶一寺院會堂トニ於テ希伯來語ノバイブル  
ヲ觀タレバ、コレヲ學バント思ヒ起リ、コノ時李ハ、木工ニシ  
テ椅子ヲ修復スルヲ業トセシナリ。然レドモ必スユノ語  
ニ通ゼント思ヒシカバ、希伯來文法書ノ古本ヲ廉價ニテ買  
ヒ、師傳ヲ假スシテ自ラ學習セシトナリ。

⑥斯東ノ名言

阿蓋爾ノ丟克如公爵ノ常ニ以德門。斯東ノ貧キ園丁ノ子ニ  
シテ、算學ニ通ジ、牛董ノ拉丁語ノフリシレピアヲ讀得シ  
トヲ怪ケルガ、一日ソノ故ヲ問ケレバ、斯東答テ、人ハタ  
亞伯西二十四字ヲ知得ルヲ要ス、コレヨリシテ、各己ノ

欲スルトコロニ從テ世間何事ナリトモ學ビ得ラルベシト云リ誠ニコノ言ノ如ク既ニ二十四字ヲ知ラバ其他ハ勉強忍耐ト機會ヲ失ズレテ進脩ノ益ヲ得ルトノ二者ヲ以テ成就ニ至ベキナリ

⑤斯格的何事ヲ爲ニモ機會ヲ看出セシ事

窩爾打斯格的ハ何事ヲ爲コモ自ラ進脩スルタメノ機會ヲ看出シ又能偶然ノ事ヲ仔細ニ算計スル人ナリ斯格的嘗テ一著書家ノ徒弟トナリシガ期限盡テツノ家ヲ辭シ去ル時ニ始テ蘇格蘭ヲ巡遊シ兵亂ノ後生殘シ英雄ヲ尋訪シコレト朋好ヲ締ビツヒニ後來著述ノ基礎ヲ立タリソノ後輕騎兵ノ衣糧官タリシトキ馬ニ蹴ラレテ歩行スルヲ能ハズ家ニ卧シテアリケルガ斯格的ハ懶惰ヲ惡ク

斯格的已見第四編十七章

\* Priestley

普氏英國人享保十八年生文化元年歿

讐敵ノ如クナレバコレヲ時トシテ著書ニ從事セリ三日ノ中ニゼレイヲフゼラストニシストレルト云ル書ノ首卷ノ詩ヲ作りソノ後幾何モナク功ヲ竟タリコレソノ大著述ノ最初ニ出シモノト云リ

⑥普理斯士禮年四十始テ化學ニ志セシ事

學士普理斯士禮ハ化學ノ大家ニシテ許多ノ微氣ヲ查出セル人ナリ始テ化學ヲ學ント志セシハ偶然ノ事ヨリ導カレタリ一日ソノ近隣ノ釀酒房ニ至リ泡起シタル酒ノ上ニ微氣ノ光ルモノ浮ク流テ忽チ又消滅スルヲ見テ奇ナル事ニ思ヒソノ故ヲ知ント思ヒ起ケリコノ時普理斯士禮ハ年四十二シテ化學ハ事ハ毫モ知ラス書冊ヲ檢索シタレモソノ故ヲ解スルヲ能ハズコノニ於テ已ノ意ニ從

\* Humphry Davy.

大未英國  
人安永七  
年生文政  
十年致

テ粗拙ナル器具ヲ造リ。經驗ヲ始タリシガ。珍異ノ徵候現  
レケレバ。益々經驗ヲ積ミ。此ヨリ彼ニ移リ。幾何モナクシ  
テ。氣ニ屬セル化學ニ精ク通スルニ至リ。○コノ時ニ當リ。  
普魯社國。化學ノ大家。舍勒。マタ諸ノ新術氣ヲ查出セリ。然  
ドモ。ソノ器具ハ。特ニ尋常藥舗家ニアル。玻璃瓶。少數ト。猪  
ノ膀胱トヲ用ヒタリシノミト云リ。

(十七) 大未手ニ隨フ物ヲ器具トナシテ。經驗ヲ做シ事

有名ノ化學家。翰弗禮。大未ハ。藥舗家ノ徒弟タリシ時。極テ  
粗雜ナル器械ヲ用ヒテ。經試ノ功ヲ始メ。何物ニ限ラズ。手ニ  
隨フ物ヲ以テ器具トナシタリ。厨ニアル鍋釜ノ類。ソノ師  
ノ玻璃餅等ナリ。或時法國ノ船ゼ。ランス。エンドニ於テ。破壊セ  
シトキ。ソノ船ニアリシ外科醫。ソノ器具ノ箱ヲ携テ。コノ

\* Farady.

發氏英國  
人寛政三  
年生

(六) 發拉第偶然ノ事ヨリ化學ニ志セシ事

難ヲ逃シガ。コノ醫。偶大未ト親熟シケレバ。古様ノ水筒ヲ  
以テ。コレニ與ケリ。大未大ニ喜ビ。即チコレヲ用ヒ。抽氣筒  
ヲ作り。熟ノ性質。及ビ根因ヲ察スル器具トナセシトナリ。  
學士發拉第ハ。大未ノ弟子ニシテ。ソノ學脈ヲ嗣ルモノナ  
リ。始メ釘書工ヲ爲シガ。コノ時ヨリ古キ玻璃樽ヲ用ヒテ。電  
氣ノ經驗ヲ爲コトヲ始シト云リ。發拉第ノ化學ニ志セシハ。  
マタ偶然ノ事ニ由リ。ローヤル。インスチテ。ユーシヨシ  
建設ケタノ社中ノ人。嘗テ發拉第ノ工作セル店舖ニ至ケ  
ル時ニ。發氏ソノ釘装センタメニ。已カ前ニ置ル。エンサイコロ  
ペチアノ電氣ノ條ヲ注視シ。居タリ。客ソノ有志ヲ知リ。ロ  
ヤル。インスチテ。ユーシヨシニ入ルベキ周旋ヲ爲ケリ。發拉第ソレ

ヨリ四次大未ノ講説ヲ聞ケルガ盡クコレヲ記録シ。或時コレヲ大未ニ示シケレバ。大未甚ダ驚感セリ。ソノ後發拉第遂ニローヤル。インスタチユーシヨシノ佐史トナリ。コレヨリシテ學業次第ニ上進シ。遂ニ大未ニ繼ギ學士ノ職ニ陞ルニ至リ。

(十九) 大未ノ記簿ニ書載タリシ語

大未二十歳ノ時ソノ記簿ニ録セシ語。早ク已ニ後來有名ノ學士タルヲ徵スルニ足リ。曰。余富饒ノ家ニ生レズ。又勢カノ家ニ生レズ。又門地ノ家ニ生レズ。然レモ余若クノ世ニアル上ハ。必ズ一世ノ爲。朋友ノ爲。ニ裨益ヲ爲。ト云ノ三者ノ福蔭ニ藉シニハ。減ビザルベシト記シケリ。大未ハ才能アルヲ發拉第ノ如シ。而メソノ心カヲ悉ク實驗ニ用ヒ。

\* Cuvier.

勉強忍耐ニ因テ。高上ナル學術ノ地位ニ進リ。格列立地。大未ヲ評シテ。ソノ心ニ勢力アリテ。凡百ノ疑義ヲ拿住シ。解破シテ。ソノ本然ノ効驗アルヲニマデ。推シ進リト云ヘリ。大未ハ。格列立地ヲ評シテ。彼極高ノ才。極大ノ識。光明ノ心アリト雖。厄。惜。カナ。次序ニ循テ。功夫ヲ用ル。ト云。缺タリト言ケリ。

(二十) 古未耶偶然ノ事ヨリ本草學ヲ勉ムル事

法國有名ノ本草家古未耶ハ。精密ニ觀察シ。勉強ノ功ヲ積ル人ナリ。童子ノ時ニ。偶蒲藪ノ本草書一冊ヲ見タルヨリシテ。其志ヲ引動カシ。遂ニコノ画ヲ寫シ。本文ノ説ニ從ヒ。彩色ヲ加テ學習セリ。十八歳ノ時。諾曼的ニ住スル一貴家ノ子ノ西賓トナル。ソノ居海邊ニ近ケレバ。水族百蟲ノ奇異



ニシテ驚ベキモノ。常ニワノ面前ニ現レタリ。一日沙上ニ徘徊セシ時。烏賊魚ノ體ニ上ルモノヲ見タリシガ。ワノ狀ノ新異ナルヲ以テ。携テ家ニ歸リ。解剖シテワノ内面ヲ察シケリ。コレヨリ生物ノ軟體ニシテ骨節ナキモノヲ查究セシガ。コノ一科ニ於テ卓越ノ聲名ヲ得タリ。古未耶考證スベキ書冊アラズ。特ニ造化ノ大部ノ書ツノ前ニ開ルモノヲ觀察スルノミ。ワノ毎日。肩睫ニ接スル實物ノ詭形殊狀ナルモノ。其心ニ深ク印記スル。世間鏤版ノ書ノ及ベキニ非ズ。カクノ如クニシテ。三年ヲ度ケル。ワノ間。水族ノ生物ト。近地ニ得ルトコロノ生物ノ化石セルモノト。比較シ。開割シテ。熟視シケルガ。遂ニ前人ノ說ニ因ズ。別ニ生物ノ種類ヲ分テ。後來革新ノ路ヲ開ケリ。古未耶ノ聲名次第二

高く。一千八百二年寛政十法國コルレリジ大書ニ於テ本草

學士ニ任セラレ。後遂ニベロンノ爵ニ陞リ。  
 ⑤瓦德士提反孫達爾東機會ヲ失ズシテ業ヲ勉事

上ニ云ルトコロノモノヲ觀ルトキハ。偶然ノ機會ヨク人ヲ助ト雖。コレヲ要スルニ定志アリテ。恒耐勉強ナル。ノヨク人ヲ助ルニハ。及ザル。ヲ見ルベシ。是故ニ柔弱ナル人。怠惰ナル人。及志向ナキ人ニハ。天幸ハ機縁ト雖。レヲ裨益スル。不能カクノ如キ人ハ。機會ヲ知。テ會セザルガ故ニ。其ヲシテ。徒ニ已ノ傍ヲ瞥然トシテ。過去シムル。ナリ。コレニ反シテ。人ノ常ニヨク機會ノ來ルモノヲ速ニ拿着シ。コレヲ以テ。德ニ進。業ヲ脩。ノ益トスルモノハ。ワノ成就スルトコロノ大ナル。實ニ驚ベキナリ。瓦德

ハ。算具ヲ製スル工人ナリシ時。自ラ製煉學器械學ヲ學ケルガ。マタコノ時ニ瑞七ノ染工ヨリ日耳曼語ヲ學シト云リ。七提反孫ハ。礦山ニ在テ器械ヲ運用シ作工ヲ爲シ時。夜間ニ算術及ビ測量術ヲ學リ。白晝ト雖モ食時ニ當リ。瞬息ハ暇アレバ。白灰ハ屑ヲ以テ。煤炭ヲ運ブ車ハ傍ニ數量ハ字ヲ書シタリシトナリ。空中ノ現象ヲ論ズル學ノ大家ナル達爾東ノ勉強ナルコトハ。童子ノ時ヨリ癖習トナリタリ。僅ニ十二歳ノ時。ツノ小村ノ郷校ニ於テ童子師トナリ。冬ハ郷校ノ事ヲ主ドリ。夏ハツノ父ハ農功ヲ助ケ稼穡ニ從事セリ。世ヲ謝スル前一二日マデ。空中ノ現象ヲ觀察シ。經驗ヲ爲シガ。ツノ一生ノ間。記錄スルトコロノ現象。二十萬數ノ上ニ踰タリ。

\*Mason Good.

蓋シ人恒久ニシテ息ザレバ。零細ノ光陰。造次ノ時節ト雖。後來湊合シテ。絶大ノ效驗ヲ顯ス。コトナリ。人毎。日一時ノ間。緊要ナラザル事ヲ息去テ。コレヲ利益アルヤウニ用ナバ。平常ノ資性ノ人ト雖モ。必ズ一學科ニ長スルニ至ルベシ。毎。日一時。ハ勉強シ。積テ十年ニ至バ。愚昧ハ人化シテ。聰明。ハ人トナルベシ。是故ニ光陰ヲシテ。菓實ヲ生ゼズシテ。空。ク過シムルコトナカレ。必ズコレヲ用テ。或ハ善根。抵ヲ養ヒ。或ハ善慣習ヲ長ズベキコトナリ。

名士零碎ノ光陰ヲ集テ大業ヲ成タル例ヲ舉グ  
 醫家馬孫具德ハ。許多ノ書ヲ著セシガ。ツノ翻譯セルラクレ  
 テユース。羅馬詩ノ詩集ハ。倫墩ノ病家ヲ巡リ訪ケル時。車ニ

\* Kirke White † Darwin  
 † Daguesseau. § Hale † Burney.

\* Elisha Burritt.

乗ル間ニ少シ、草稿ヲ屬セルモノナリ。醫家達爾寅マタ  
 病家ヲ看訪スル時、途中常ニ小紙ヲ持シ、サルキノ小車ニ乗  
 ナガラ、ツノ考思ノ事ヲ録セリ。平生ノ著述ハ、皆ユノ片紙  
 ノ集レルモノナリ。按察司海爾ハ、國中ヲ巡視旅行スル間  
 ニ、コンテムプレーション名書ヲ作り。○樂師培屋ハ、馬ニ乗り、旅行  
 スル間ニ、意大利語、法蘭西語ヲ學リ、ツノ門生ノ中ニ、コノ  
 二國ノ語ヲ知ルモノアレバ、誰彼ヲ問、ズシテ、コレヨリ、教  
 受シト云、リ。詩家加克、淮的ハ、狀師館ニ往來スル途中ニ、ア  
 ル間ニ、希臘語ヲ學ビ、善クコレニ通ズルニ至リ。現今崇高ノ  
 位ニ居レル人アリ、昔シ滿遮士打ニ在テ、使喚人トナレル  
 時、ソノ使トナリ、道路ヲ往來スル間ニ、拉丁語、法蘭西語ヲ  
 學ビトナリ。法國ノ尚書達凱肖ハ、食時ニ當リ、等候スル間

自取論第五編

斷アルゴトニ、筆ヲ執ケルガ、大冊子ノ著述ヲ爲ニ至リ。夫  
 人然律士ハ、毎日法國ノ公主ニ伺候シ、教授スル間ニ、ツノ  
 絶妙ナル文辭ノ書數種ヲ皆セリ。以律休、拔律的ハ、亞墨利  
 加ノ語學家ナリ。自ラ子ハ不才ノ人ナリ、ツノ進脩ノ益ヲ  
 受タルコトハ、特ニ零碎ハ、光陰ヲ謹テ用タリシニ由リト云  
 リ。拔氏ハ、打鐵匠トナリテ、家業ヲ爲シ、間ニ、古今十八種ノ  
 言語、及ビ歐羅巴二十二國ノ方言ヲ次第ニ學ビ、悉コレニ  
 通ズルニ至リ。

⑤ 光陰ノ貴ブベキ事

阿斯福オックスフォードノヲールソールス、ユルレーヂ學院ノ名、日晷ダイアルノ上ニ題スル  
 語ニ、時辰ハ滅亡ス、而メ人ニ托メ、ツノ債ヲ負シム。歳月ハ  
 レタスレテ消滅ス、レユエ、人モレテ及バ、遂ニ一職事ヲ成就スル  
 レバ、爲ベキノ功課ツ子ニ後テ、及バ、遂ニ一職事ヲ成就スル

自取論第五編

墨氏日耳  
曼人與路  
暢為友朋  
應六年生  
永祿三年  
歿

\* Melancton

トコロナクミト云ルハ誠ニ少年ヲ戒ル的切ノ訓言ト稱  
スベシ蓋シ光陰ハ人ニ屬スルニテ永遠無疆ノ小片  
ニ過ザルノミ而メ人生ト同ク已ニ過タルモノハ復喚回  
ス可能ザルモノナリ故ニ咽各士打ノ若克孫ハ世上ノ財  
貨ハ空ク耗散スト雖也後日ノ儉約ニ由テコレヲ償フヲ  
得ベシ然レ誰カ能ク今日失トコロノ光陰ヲ明日ヨリ取  
得ルモノアラシヤト云ケリ墨蘭古敦ハ自ラ失シ光陰ヲ  
冊子ニ記シ他時勉強シテ補償シ務テ一時タリトモ虚ク  
度ザランコトヲ期セリ一ノ意大利ノ學士ツノ門ニ書シテ  
誰ニテモ吾家ニ來ンモノハ我ト共ニ勉強勞苦スベシト  
云リ或人數名嘗テ有名ノ上帝道學士拔克士他ノ家ヲ訪  
シトキ拔氏ニ向テ吾等君ヲシテ光陰ヲ費サシメタリト

關氏英國  
人文章之  
妙冠絕於  
古今寬政  
九年歿

Gibbon \* Addison

曰ケレバ拔氏實ニ然リ若輩吾光陰ヲ妨タリト答ケリ光  
陰ハ産業ナリ光陰ニ由テ大人豪傑工夫ヲ積ミ或ハ大功  
ヲ立テ或ハ好書ヲ著シテ無數ノ恩惠ヲ後人ニ貽ルコトナ  
リ

⑤ 古人著述ノ業ニ勞苦セシ事

凡、人特ニ勞苦ハ功程ニ由テ非常ハ業ヲ成就スルコトナリ  
關、垓孫ハスペクテイトルヲ著セル前ニ三大冊ノ寫本ヲ材  
料ノ爲ニ蓄タリ牛董ハツノコロロチイヲ撰セシガ十五次  
草藁ヲ換タリ吉本ハツノメモアイル備忘録ト云ガヲ九次草稿ヲ  
屬シタリ海爾ハ多年ノ間毎日十六時法律ヲ學タリ意倦  
トキハ理學算術ヲ學ビ精神ヲ再造セリト云リ休換ハヒス  
トリイイギリスノ著セル時一日十三時ノ間コレニ

英國史

從事セリ。孟得斯答嘗ツノ著書ノ一分ヲ一友ニ示テ、足下ハコレヲ暫時ノ間ニ讀畢ルベシ。然レ予コノ撰著ニ勞苦セシト、頭髮ヲシテ雪白ナラシメタリト云ヒトナリ。

⑤ 筆録及ビ抄寫ノ益

考察ノ理、實歴ノ事ヲ筆録シテ遺忘ニ備ルハ、詳慎ニシテ學ヲ好ム人ノ爲トコロナリ。勞爾德倍根ハ、許多ノ寫本ヲ遺セリ。題シテリッデン、ワウツ、セツト、フアラ、ユース、忽然思出スコヲ録シテ需用ニ備フト曰リ。越爾士金ハ、拔爾克ノ著書ヲ多抄録シタリ。意爾同ハ、コークアポソリットルトン律的爾敦注釋哥克律法書ヲ、二回自ラ寫タレバ、コノ書己ノ心ヨリ出シ如ナリ。○上帝道學士拜斯密七八其父鈞書工ナリ。レ故父ニ從テ、コノ業ヲ爲ル間ニ、許多ノ書ヲ讀ミ、許多ノ

John Hunter.

翰他英國  
人天明三  
年歿

鈔録ヲ爲シ、批評ヲ書シタリ。ツノ傳ヲ作モノ、コレヲ贊シテ、時トシテ工夫ヲ用ザルナク、時トシテ進歩セザルナク、時トシテ貯積セザルナシト云リ。

⑥ 戎翰他鈔録ヲ勤シ事及ビツノ他勉強ノ事

翰他ハ、最モ勤テ、鈔録ヲ爲シ、記性ハ不足ヲ補シ人ナリ。常ニ自ラ鈔書ノ益ヲ言テ、鈔録ハ恰モ商人ノ本錢ヲ簿冊ニ載ルガ如シ。若コレナカリセバ、幾許ノ利ヲ得タルモ、幾許ノ損ヲ受ルコトモ知ザルベシト云リ。翰他物ヲ觀察スルト靈捷銳敏ナリシ故、亞白涅西常ニコレヲアルカス。古代怪像百目ヲ具ノ眼ニ比セリ。然レ其實ハ忍耐勉強ニ由テ才カヲ長セシナリ。翰他二十歳ノ時ニ至マデ、教ヲ受タルナシ。數年ノ間、額拉斯哥ニ在テ、木工ノ業ヲ爲シガ、其後倫

敦ニ至リ。其兄維廉ニ從ケリ。維廉ハ割屍ノ術ヲ學ル人ナリシガ。幾何モナクシテ翰他コレニ超過セリ。コレ半ハ翰他ノ才性アルニ由ト雖モ。然トモ大要ハツノ忍耐勉強ナルニ由ルナリ。翰他割屍ノ學ニ心ヲ潜ケルガツノ割開シテ聚貯セシ様式。二萬ノ大數ニ至リ。學士窩蘊コレヲ編次セシニ。十年餘ヲ歴タリ。翰他毎日天明ヨリ曉八時ニ至ルマデハ。ツノ書室ニ在テ業ヲ勉メ。コレヲ畢テ後。或ハセシヨリテノ醫館ニ往キ。或ハ兵醫館ニ往キ。病人ヲ視察シ。或ハ講説ヲ爲シ。生徒ヲシテコレヲ聽シメ。或ハツノ家ノ割屍學校ニ臨ミ。又ツノ暇ニハ。學術有用ノ書各種ヲ著セリ。カクノ如キ許多ノ事業ヲ爲シニハ。許多ノ光陰ヲ覓出ザルコトヲ得ズ。故ニツノ睡眠ノ度。夜中四時。晝飯後一時。合テ五時ニ

過ス。嘗テ人アリテ。翰他ニ何等ノ方法ヲ用テ事業ヲ成就シ玉ヒシヤト問ケレバ。翰他答テ。吾規則ハ事ヲ始ル前ニ。子細ニツノ行ルベキヤ否ヲ思量スルコトナリ。故ニ行ルベカラスト思フハ。コレヲ爲コトヲ試ス。モシ行ルベシト思フハ。縦ヒ何ホド辛苦ヲ積トモ。コレヲ成就セシコトヲ期セリ。シカシテ。一夕ビ始タランニハ。ツノ事結局ニ做了マデハ。決シテ中止セズ。蓋シ吾志業ヲ遂ルコトヲ得タリシハ。コノ規則ニ頼タルナリト言シトナリ。

(天)翰他物ノ定タル情形ヲ忽ニセズシテコレヲ熟察セシ事

翰他ハ物質ニ屬スル一定ノ情形ヲ察スルコトニ。許多ノ光陰ヲ費シテ惜ザル人ナリ。翰他ノ時ヨリ以前ハ。コレ等ノ

事ハ世人ミナ緊要ナラヌ事ト思リ然レ翰他深ク其心ニ  
印證シテ物ハ實在ハ情形ヲ精確ニ考察スルハ緊要ニシ  
テ益アルハ事ナリト思リサレバ脉管ヲ研究スルガ如キ  
モソノ自然ノ情勢如何又ソノ張大ナル時ハ如何ト精密  
ニ察識セリ故ニ脉管腫脹ノ症ヲ患ルモノアリケレバ大  
脈管ヲ綁紮シテ病者救ルトヲ得タリ抑モ昔ヨリ外科  
醫未カクノ如クヲ為ザリシニ翰他カ、ル大胆ナルヲ  
能セルハ平生考察ノ明ナルニ由ルナリ翰他ハソノ得ル  
トコロヲ他人ニ表襮スルヲ欲セス故ニ當時ノ人コレ  
ヲ讚美スルモノ少カリシナリ然レ翰他ハソノ他真成ニ  
勉強スル人ノ如クソノ爲トコロ獨リ自己ノ良心ニ慚ハ  
ントヲ求ルノミ蓋シ正人君子ハ當然ハ分ヲ盡シ正經

\* Ambrose Paré.

ハ業ヲ務ルモハハミナ稱許ヲ他人ニ求ズシテ稱許ヲ吾  
本心ニ得ントヲ求ルモハナリ

⑤ 巴禮ノ事

法国外科醫ノ大家安伯羅士。巴禮ハ細心ニ事物ヲ觀察シ  
堅忍ニシテ工夫ヲ用ヒ勇毅ニシテ撓ザル人ナリ一千五  
百九年永正麻尼ニ生ル剃頭工ノ子ナリ偶然ノ事ヨリシ  
テ外科醫トナラント欲シ剃頭業ヲ爲ル間ニ剖屍ノ術ヲ  
學ケルガ其技大ニ長進セシカバ大將門的模連西ノ軍隊  
中ノ醫官ニ命ゼラルコノ時世ニ至マデハ創傷ヲ受ケ人  
外科醫ノ爲ニ生命ヲ喪フ敵ノ鋒又ヨリモ多クリ蓋シ  
銃創ヨリ出ル血ヲ止ルニハ熬煎スル油ヲ以テ包裹ノ功  
ヲ施シ其他流血ヲ止ルニハ烙鐵ヲ以テ創癩ヲ灸ルマタ

肢体ヲ割去トキハ、燒テ紅色トナレル小刀ヲ用テコレヲ  
 爲リ、巴禮モ始ハ舊法ニ從テ創痕ノ人ヲ療シケルガ、一日  
 油ヲ煎テ十分ナラズシテ、柔軟ノ作用ヲナシタリ、偶治功  
 ヲ誤シ故終夜大ニ恐懼セシガ、明朝ニ至テ視レバ、ワノ病  
 者甚ダ快安ナリ、ワノ尋常ノ法ニ從テ治功ヲ施セシモノ  
 ハ、却テ苦痛ニ惱タリ、コレヨリ巴禮銃創ヲ治スルニ柔軟  
 ノ法ヲ用ヒ、又流血ヲ止ルニ脈管ヲ縛テ烙鐵ヲ用ザ  
 リケリ、コレ等非常ノ改變ヲ爲タレバ、舊法ヲ守ル醫家ヨ  
 リ大ニ誹謗ヲ受タリ、然レ治ヲ乞モノ愈多ク、聲名益顯レ、  
 三年ノ後、遂ニ命ゼラレテ、王ノ外醫トナレリ、士班牙ノ兵  
 墨子ヲ圍シトキ、法國ノ城兵、創痕ヲ被ルモノ甚多ク、コレ  
 ニ加ルニ、外科醫少シテ又拙ニ由リ、コレガ爲ニ死スルモ

ノ、敵兵ニ死スルヨリモ多カリケレハ、普斯ノ公、城兵ノ王  
 ニ書ヲ贈リ、巴禮ノ来ラントヲ望リ、巴禮ハ勇剛ナル人ナレ  
 バ、直ニ起行シ、許多ノ危難ヲ凌ギ、敵兵ノ中ヲ過テ、墨子ニ  
 達シケレバ、普斯ノ公ヲ始トシテ、將領加比丹皆歡迎ス、就  
 中兵卒コレヲ聞テ、吾輩今日ヨリハ傷痕ノ爲ニ死スル怖  
 ナカルベシト互ニ語リケリ、明年撤倍ノ公、黒士達ヲ陷レ  
 シトキ、巴禮囚タリシガ、敵ノ長官ノ深キ金創ヲ療治シ、ユ  
 レヲ愈シケレバ、贖金ナク赦シテ、巴禮ニ歸リケリ、  
 コレヨリ後、巴禮身ヲ終マテ、學問自修ノ功、慈惠善良ノ事  
 ヲ以テ、歲月ヲ送リ、同時ノ學者ニ勸ラレ、平生醫療スル實  
 驗ヲ筆録シ、書二十八卷ヲ著シ、ソノ中ニ許多ノ實事醫案  
 ヲ載ヒ、又空理ノミニシテ、事證ナキモノヲ指示シ、療法ノ



\*Harvey.

謹避ベキモノヲ記セリ。巴禮ハ波羅特士但教ノ信士ナレ  
 厄久ク王ノ外科醫ト爲テ給事セリ。仙巴多羅買ノ夜巴禮  
 ハ查爾斯第九ノ眷愛ヲ得タルニ由テ。獨リ屠殺ノ禍ヲ免  
 タリ。コレ查爾斯嘗テ拙醫ノ刺絡セシヨリ創傷ヲ受ケ。殆  
 ド危カリ。巴禮救タリシユエトイフ。伯蘭的墨ノメモアイルス  
 名ニ巴多羅買屠殺ノ夜王ノ巴禮ヲ救シ。トヲ記セリ。曰。王  
 人ヲシテ巴禮ヲ引來シメ。王ノ内房ニ居シメ。終夜出。ト勿  
 ト命シタリ。王ノ言ニ。衆人ノ生ヲ救テ。ツノ身殺害ヲ受。ト  
 理ニ於テ有。マジキ。トナリト言レケリ。巴禮コノ夜ノ慘禍  
 ヲ免レ後。久ク生存シ。榮名ヲ享テ。天年ヲ終タリ。  
 (主) 厚倍血ノ運行ヲ發明セシ事  
 厚倍ハ。勉強シテ倦ザル人ナリ。血ノ運行スル。トヲ考覈シ。

厚倍英國  
人天正六  
年生明曆  
三年歿

\*Dr. Jenner.

日氏英國  
人文政六  
年歿

一書ヲ著セシガ。八年ノ星霜ヲ費セリ。其説明白確當ナリ  
 ト雖。世。人。コ。レ。ヲ。信。ス。ル。モ。ノ。ナ。ク。且。顛。狂。欺。騙。ノ。人。ト。稱  
 セ。ラ。レ。タ。リ。厚倍ハ。古。人。ノ。定。案。ヲ。疑。ヒ。一。家。ノ。新。見。ヲ。立。タ  
 レ。バ。經。典。ヲ。反。覆。シ。教。法。ヲ。亂。リ。風。俗。ヲ。破。ル。ト。時。人。ニ。議。ラ  
 ケ。リ。故。ニ。其。說。行。ザ。ル。ノ。ミ。ナ。ラ。ズ。一。人。ノ。朋。友。モ。ア。ラ。ザ。ル  
 ニ。至。リ。然。レ。真。確。ハ。說。次。第。ニ。世。ニ。信。ゼ。ラ。レ。二。十。五。年。ノ。後  
 ニ。及。テ。厚倍一家ノ見。遂ニ闔國ノ定論トハナリニケリ。  
 (主) 日納爾牛痘ヲ發明セシ事  
 醫家日納爾牛痘ヲ種ヘ。疱瘡ヲ防。トヲ發明セシガ。其說行  
 ル。マ。テ。ハ。多。少。ノ。障。礙。ニ。逢。ケ。リ。日。納。爾。ハ。哥。羅。斯。德。社。ノ  
 人。ナ。リ。日。納。爾。ヨ。リ。以。前。ニ。コ。ノ。地。ノ。牛。乳。ヲ。絞。ル。女。伴。ノ。中  
 ニ。流。傳。ス。ル。說。ア。リ。テ。牛。痘。ノ。事。ヲ。見。聞。ス。ル。モ。ノ。寡。カ。ラ。ズ。

然<sup>レ</sup>氏瑣々タル流俗ノ説ト侮<sup>リ</sup>テコレヲ查察スルモノ一人  
モナカリケリ。日<sup>ビ</sup>氏少年ノ時瑣德拔禮ノ外科醫ノ徒弟ト  
ナリシ時一ノ村女アリ其師ノ家ニ來リツノ疾ヲ診視ス  
ル<sup>ト</sup>ヲ求ムコレハ疱瘡ナリト言ケレバ村女答テ予<sup>レ</sup>コノ  
疾ヲ得ル<sup>ト</sup>アルベカラス何ニトナレバ予嘗テ牛痘ヲ受  
タリト云ケリ日納爾コレヲ聞テ忽チ思フニハコレヲ用  
タラバ疱瘡ノ防<sup>ギ</sup>トナルベシト因<sup>リ</sup>テコノ事ヲ究察セント  
思<sup>ヒ</sup>起シ一日コレヲ其朋友ニ語ケレハ大ニ嘲笑セラレ且  
カクノ如キ説ヲ固執セバソノ社中ヲ逐<sup>ヒ</sup>出スベシト嚇<sup>カ</sup>サ  
レタリ其後倫敦ニ至リ幸ニ我<sup>レ</sup>翰他ノ弟子トナル<sup>ト</sup>ヲ得  
テソノ牛痘ノ説ヲ語ケレバコノ解剖ノ大家ノ言大ニ尋  
常ノ外ニ踰<sup>ヒ</sup>タリ曰徒ニ思<sup>フ</sup>トナクシテ實ニコレヲ試<sup>シ</sup>ヨ久

ニ耐<sup>ル</sup>ベシ又精細ナル<sup>ト</sup>ヲ要ストゾ答ケル日納爾コレニ  
由<sup>リ</sup>テ勇氣益々奮<sup>ヒ</sup>遂ニコノ事ヲ講求センガ爲ニ故郷ニ  
歸<sup>リ</sup>二十年ノ間經驗ノ功ヲ積<sup>リ</sup>既ニシテ日納爾牛痘ヲ  
種<sup>ル</sup>ル<sup>ト</sup>ノ益ヲ確然トシテ疑<sup>ガ</sup>サルニ至<sup>リ</sup>ケレバ先<sup>ニ</sup>已ガ子ニ  
牛痘ヲ種<sup>シ</sup>試<sup>シ</sup>其後書ヲ著<sup>シ</sup>テ牛痘ヲ種タル人疱瘡流行  
スル時傳<sup>ハ</sup>深<sup>ク</sup>ヲ受<sup>ケ</sup>サル二十三案ヲ載<sup>セ</sup>タリ一千七百九十八  
年<sup>十</sup>寬政ニ始<sup>メ</sup>テ頒行ス然<sup>レ</sup>ドモ日納爾ノ定説ヲ立<sup>テ</sup>シハコレ  
ニ先<sup>ニ</sup>丁二十三年即一千七百十五年<sup>安永</sup>ノ事ナリシトナ  
リ。  
其後コノ發明ノ事始ハ世ニ蕪<sup>カ</sup>忽<sup>ニ</sup>セラレ後ニハ讐敵ヲ  
以<sup>テ</sup>待<sup>テ</sup>セラル日納爾倫敦ニ赴<sup>キ</sup>牛痘ノ法ヲ傳<sup>ハ</sup>ントセシ  
ガ醫者一人モコレヲ試<sup>シ</sup>メント欲スルモノナケレバ凡<sup>ソ</sup>

三箇月待<sup>テ</sup>後空<sup>ク</sup>ツノ郷ニ歸ル。コノ時世人ノ説ニ日納<sup>ジエ</sup>爾カクノ如キ事ヲ開キ、人類ヲシテ、牛ノ乳袋ノ病質ヲ受<sup>ル</sup>シメ、人獸別ナカラシメント欲スト嘲<sup>ケ</sup>リ罵<sup>レ</sup>リタリ。又教師ノ講説ニ、牛痘ヲ種<sup>ル</sup>ルハ妖術ナリト公告セリ。又世人ノ説ニ、種痘シタル小兒ハ、牛ノ面ニ次第ニ似ルト。又説ニ、ツノ瘡ハ牛角ヲ生スル<sup>ノ</sup>徴候ナリト。又説ニ、ツノ小兒ノ聲ハ、牛ノ吼<sup>ホ</sup>ル聲ニ似ルト云<sup>ヒ</sup>テ、コレヲ嫌ヒ惡<sup>ク</sup>ケリ。然<sup>レ</sup>種痘ノ事ハ、元來真益トナル<sup>ノ</sup>カクハ如キ猛烈ハ詆毀アル中ニモ、次第ニコレヲ信スルモハ出來リ、嘗テ村ノ紳士、其子ニ牛痘ヲ種<sup>タ</sup>レバ其子門外ニ出ル時ハ、村中人コレニ石ヲ投<sup>ジ</sup>室中ニ追入<sup>レ</sup>タリシトナリ。大家ノ婦人ダレ<sup>レ</sup>及ビ伯爵ノ夫人バークリイ、ツノ兒子輩ヲシテ、種痘ヲ

受<sup>シ</sup>メタリ。コレヨリシテ、ツノ新發明ノ事盛ニ行ハルベク見エケレバ、狡猾ノ醫者、マタ日納<sup>ジエ</sup>爾ノ功ヲ奪<sup>フ</sup>ント欲シ。自<sup>ラ</sup>發明シタリト訟<sup>ル</sup>モノ數人アリケルガ、日納<sup>ジエ</sup>爾ノ案件終ニ勝<sup>ツ</sup>ヲ得テ、普<sup>ク</sup>ク時人ニ崇重セラル、ニ至<sup>リ</sup>。日納<sup>ジエ</sup>爾ハ、天性謙虛ニシテ、隱顯トモニ節ヲ改<sup>メ</sup>ザル人ナリ。倫敦ニ來<sup>リ</sup>住<sup>シ</sup>ナバ、一年一萬金<sup>ニ</sup>凡<sup>ク</sup>我邦三萬五<sup>ヲ</sup>得ベシトテ、コレヲ招<sup>ク</sup>クモノアリケレバ、日納<sup>ジエ</sup>爾答<sup>テ</sup>曰ク、否、吾生ハ晨早ニ於<sup>テ</sup>少年、我遠僻卑下ハ、路程ヲ行<sup>カ</sup>ン<sup>ト</sup>求<sup>ム</sup>、幽谷ヲ欲<sup>シ</sup>テ高山ヲ欲<sup>セ</sup>ザリキ。然<sup>レ</sup>今ヤ吾生ハ暮景ニ及<sup>シ</sup>テ、吾身ヲ提起<sup>シ</sup>テ、名利ヲ求<sup>ム</sup>ルハ具トスルハ、適當セヌ<sup>ト</sup>ナリト答<sup>シ</sup>ト<sup>グ</sup>。日納<sup>ジエ</sup>爾ツノ生時ニ及<sup>シ</sup>テ、文明ノ諸邦ニ牛痘ノ行<sup>ハ</sup>ル、ヲ見、又ツノ死スル時、恩惠ノ主トイヘル號ヲ

\* Sir Charles Bell.

白耳言第五編

二二四

遠近ヨリ得タリ。古未耶曰、牛痘ヲ傳ルコトハ、特ニ今時ノ發明ト雖モ、ソノ惠澤永世無疆ニ及ベシ。然レモ、日納爾<sup>ジェンナ</sup>ヲ<sup>ル</sup>、<sup>アル</sup>學士集ノ門戸ヲ二十度空ク叩タリキ。發明ナレモ、始ハ有ラ名ノ學士ノ會社ニ排擯セ

⑤ 白爾神經ノ事ヲ研究スル事

查爾斯<sup>チャールズ</sup>白爾<sup>ベル</sup>神經ノ部ニ關係スル新發明ヲ爲タリシガツノ堅定ノ志、忍耐ノ力、マタ日氏<sup>リベンチル</sup>ニ讓ザリケリ。是時ニ當テ世ニ行ル、神經ノ功用ヲ論ズル說、甚ダ混淆シテ分曉ナラス。三千年ノ前<sup>デヒク</sup>リテユスアナキサゴラスノ時ニ比スレバ、少ク進ルノミナリ。白爾詳慎精密ニコノ一項ヲ究察シ、屢々經驗ノ功ヲ積ミ、久シテ一書ヲ著シ、一千八百二十一年<sup>トカド</sup>年コレヲ世ニ公ニセリ。蓋賤キ獸類ノ神經ト雖モ、コレヲ

忽ニヒズ、勉強シテ講明シケレハ、萬物ノ主ナル人ノ神經ヲ講究スル一助トナレリ。其說ニ曰、脊髓ノ神經ハ、ソノ職分ニ於テニアリテ、二箇ノ根ニヨリテ發セリ。心志ハ、ソノ一根ヨリ傳送シ、感覺ハ、ソノ一根ヨリ傳送ス。白爾コノ事ヲ五十年ノ間思量シケルガ、遂ニ一千八百四十年<sup>天保十年</sup>ソノ最後定タル說ヲ書シテ、ローヤルソサイテイ<sup>學士集</sup>ニ出シケリ。然ニ厚倍日納爾ノ如ク、始ハ大ニ誹笑セラレシガツノ說ノ真ナルヲ知ニ及テ、發明ノ功ヲ掠<sup>ソリ</sup>ント欲スルモノ。英國并ニ他邦ニ衆カリケリ。白爾コレニ由テ、書ヲ著シ、ソノ發明ヲ為シ、次第ヲ子細ニ録記シ、ソノ聲名ヲ保タントヲ務メカバ、久シテ後白爾ノ大功、遂ニ一世ニ照認セラレケリ。古未耶病テ死セントスル時、ソノ面ノ<sup>シキ</sup>縮シテ一方

白耳言第五編

二二五

\* Dr. Marshall Hall.

自助論第五編

二十一

ニ牽ル、ヲ指サシ。侍者ニ示シテ。白爾ノ理論ノ正トハ。ユ  
ノ徴候ヲ見テ知ルベシト云ヒシトゾ。

○荷爾神經病ノツノ根ヲ肢體ヨリ發スルモノヲ發  
明スル事

醫師馬緒爾荷爾ハ。マタ厚倍翰他日納爾白爾ト肩ヲ比ル  
モノナリ。一生ノ間。能事ヲ詳ニ觀察スルヲ務トス。故  
ニ瑣小ナル事ト雖。ソノ着眼ニ漏ル。トナシ。神經病ノ  
肢體ヨリ根ヲ發スルモノヲ發明シテ。學士家ノ爲ニ重ゼ  
ラレシガ。始テコ、ニ著眼セシハ。甚ダ平凡ノ事ヨリ起リ。  
嘗テ螺ノ氣ノ運行ヲ查究セシトキ。其頭ヲ斬タルモノヲ  
案上ニ置キ。サテ其尾ヲ分タシトシ。偶ソノ皮ヲ突刺タレ  
バ。螺カヲ出シテ動出シ。種々ノ形ニ伸縮セリ。荷爾怪シオ

\* Sir William Herschel.

モヘラク。神經ニ感觸セズシテ。カクノ如ク運動スルハ。何  
故ゾト。コノ時ヨリ此理ヲ窮ント志タリ。抑モ頭ヲ斬タル  
モノ、動轉ヲ做ハ。人ノ屢見ルトコロナリ。然ニコノ理ヲ  
究察セシハ。荷爾ヲ以テ始トス。一生ノ間。二萬五千時方程  
ハ。コノ經驗ニ工夫ヲ費タリトゾ。然レ荷爾コノ發明ノ事  
ヲ筆録シ。ローヤルサイテイ學士集ニ出シ時ハ。猶學士家ニ非  
テセラレシガ。其後十七年ノ星霜ヲ歷テ。其說始テ英國及  
他邦ノ學士家ニ許可セラル。ニ至リ。

○黑爾舌新行星ヲ始テ看出ス事

維廉黑爾舌ハ。上ニ云ル數人ト學術異ナリト雖。同ク忍  
耐ノカヲ顯セル人ナリ。其父ハ日耳曼ノ樂工ニシテ。甚ダ  
貧ク。子四人アリテ。皆ソノ業ヲ爲リ。維廉生計ヲ覓ンガ爲

自助論第五編

二十一

黑氏寬延  
三年生嘉  
永元年歿  
九十八歲

ニ英國ニ來リ。軍隊ニ入り。ヲボウ類ノヲ吹職ヲ爲セリ。ソ  
ノ軍隊同加斯德ニアリケルガ。學士彌爾列爾偶黑爾舌ノ  
絃弓ヲ彈スルヲ聽ニ。妙絶イハニカタナカリケレバ。コレ  
ト談話シテ益コレヲ悦ビテ。已ノ家ニ寓宿センヲ勸タ  
リ。黑爾舌コレニ從ヒ。衆人奏樂ノ時ニハ。絃弓ヲ彈シ。暇時  
ニハ。彌爾列爾ノ書籍ヲ披閱シ。進益ヲ得シトナリ。既ニシ  
テ黑爾舌天學ニ於テ。近ゴロ新發明ノ事アリシヲ聞テ。甚  
ダ珍シキコニ思ヒ。コノ事ヲ考究セント志シ。一友ヨリ二  
尺ノ遠鏡ヲ借ケルガ。深クノ學ニ耽ヨリシテ。遠鏡ヲ買シ  
ト思ヒ。倫敦ノ街ヲ探タルニ。其價甚ダ高シテ買ガタケレ  
バ。遂ニ自ラコレヲ造ラント思ヒ起セリ。抑モ遠鏡ヲ作ニハ。  
中凹タル金ノ鏡ヲ要スルコトニテ。コレヲ製スルコト最モ難

シトス。然ニ黑爾舌久ク辛苦シテ燃心五尺ノ遠鏡ヲ造テ  
成就シケレバ。コレヲ以テ土星ノ環トソノ衛星ヲ察測ス  
ルコトヲ得タリ。ナホモコレヲ以テ自ラ足リトセズ。又燃心  
七尺ノ遠鏡ヲ造ケルガ。コレヲ成就スルマデニ。金鏡二百  
ヲ作シ後。方ニ意ニ中タルモノヲ得タリシトナリ。ソノ勉  
強忍耐真ニ驚ベシ。コレ等ノ測器ヲ以テ。天象ヲ觀察スル  
間ニ。ハムフルム室奏樂ニ來ル客アレバ。コレガ爲ニ笛ヲ吹テ  
衣食ノ業ヲ營ム。然レ黑爾舌熱心ニ天學ヲ好ミ。ソノ樂ヲ  
作ル間。少ノ暇隙ヲ偷ミ。房内ニ入りテ。遠鏡ヲ持シ。又還テ笛  
ヲ弄ス。カクノ如ク工夫ヲ積ケルガ。遂ニギョルチエムサイダス  
英王若爾日ト名ラル。星即於拉納士ト云ル行星ヲ始テ  
第三ノ星ト名ラル。星ノ軌道及ヒ動轉ノ遲速ヲ精ク測度シテ  
看出セリ。コノ星ノ軌道及ヒ動轉ノ遲速ヲ精ク測度シテ

ローヤルサイテイ會院ニ送リケレバ、ヲボウヲ吹ケル賤キ樂工一旦大名ヲ發シ、時人ヲ驚シケリ、幾何モナク、アストロノメルローヤル王家ノ命セラレ、若爾日第三ノ恩遇ヲ受タリ、ソノ入トナリ、温和謙讓ニシテ、顯達ハ後ト雖モ卑賤ハ時ニ異ナルトナシ、誠ニカクノ如ク、溫柔ニシテシカモ忍耐ノカアリ、至難ノ事ニ勝テ卓絶ノ功ヲ成シタル人ハ、古人傳記中ニ比類多ラス。

William Smith

英國察地學ノ母ト云ル稱ヲ得タル維廉斯密士ハ、勉強忍耐ノ力ヲ顯シ、機會ニ乘シテ、事ヲ務ル人ナリ、一千七百六十九年明和六年和ニ生ル、阿斯福子ヨルチヒルノ農家ノ子ナリ、小兒ノ時、其父死シ、其母再嫁シテツノ亞父ニ養ル、長スルニ

維廉斯密士察地學ニ長ズル事

及テ、近地ニ遊歩シ、石ノ奇珍ナルモノヲ集ルヲ好ケリ、斯密士少年ノ時ヨリ物ヲ觀察スルトニ精密ニシテ、徹底セリ、測量ノ術ヲ學ケルガ、其業大ニ進之、測量官ノ輔手トナリテ、阿斯福及鄰近ノ省府ニ行旅シ、ツノ經過スルトコロニ從ヒ、種々ノ土、自然ニ相層ルモノヲ審ニ查察セリ、又命ゼラレテ處々ノ煤山ヲ測量シ、大ニツノ經驗ノ助トナレリ、僅ニ二十三歳ニ及デ、地ノ層級ヲ顯ス圖ヲ作シ、トナ企タリ、斯密士格羅斯得ニ於テ、地ヲ平ニシ、水道ヲ作ル時、コノ地、煤炭ノ上ニアル土ノ層級ハ、平ナラズシテ東方ニ向テ傾キ下リト言ケルガ、其後果シテ深谷ノ兩崖ニ於テ、トドグラウインド、ライアス、フリーストウン、即チフォーライト土ノ種類ノ名、次第ニ東方ニ向

テ低ク地下ニ沈タルヲ觀タリ。其後英國威爾士ノ水道ヲ  
 掌理スルノ官ニ任ゼラレシカバ、益々ソノ經過スルトコロ  
 ノ地ノ體質ヲ查察シ、頃刻モ徒ニ過スヲナシ、サレバ輕車  
 ニ乗り、路ヲ行ニ、五里或ハ十五里モ隔タル山ヲ見テ、ソノ  
 性質絡脈ヲ審ニ知、テ得タリ。ソノ察地學ニ精キヲカク  
 ノ如シ。  
 斯密士云、種々ノ土、次第ニ相層ルモノ。即チカキクレイ粘土ササンド砂  
ライムストウン石粉ノ如キ、各種別ノ化石ヲ含有ス。コレヲ以テ  
 見ルトキハ、各種ノ土、昔ハ皆海底ニシテ各ツノ時代ノ海  
 中ノ生類ヲ藏スルモノナルヲ知ルベシト。是說ハ前人  
 ノ未ダ言ザルモノナリ。  
 嘗テ罷士ニ於テ、カリ查ネ遜ズノ小室ニ藏セル化石ノ類ヲ見タ

ル時、斯密士ツノ化石ヲ、地下層級ノ次序ニ循テ鋪陳シテ、  
 コノ石ハ、藍色ノライアスノ中ニアリ。コレハ砂石ノ中ヨリ  
 出ヅ。コレハ漂布泥ヨリ出ヅ。コレハ罷士ノ屋石ヨリ出ヅ  
 ト言ケレバ、カリ查ネ遜ズ深クツノ說ヲ信ジケリ。然レ當時ノ察  
 地學者ハ、斯密士ヲ知ラズシテ、彼ノ新進ノ測量者矣。ニ察地  
 學ヲ唱ルトヤ。嗚呼ガマシキヲナリト言シトゾ。コレヲ要  
 スルニ、斯密士ノ心目、地皮ヲ穿テ、ソノ骨ヲ洞觀スル。燭  
 照シテ龜トスルガ如クナリ。又嘗テカリ查ネ遜ズニ向ッテ、地下各  
 種ノ土、上層ヨリ數テ下層ニ至ルマデ、即チチヨーク白灰コリ下  
 テ、テコール炭ニ至ルマデ、二十三種ヲ舉タリ。コレニ繼テ、各種ノ  
 化石ノ由テ出トコロヲ述タリ。此說ハ、一千八百一年享和  
 ニ印行シ、廣ク國中ニ行ハル。



其後斯密士英國愛蘭ノ遠地ニ旅遊シ。土地ノ性質ヲ察シ。ツノ實驗スルトコロノモノヲ筆録セシガ。凡、一年ニ一萬里以上ノ路ヲ行ケリ。カクシテ。數年ノ後。遂ニ一千八百十四年文化ニ英國威爾士地下層級ノ圖ヲ著ス。二十年間。勞苦シテ已ザルノ菓實ナリト云リ。此圖ノ精確ニシテ有用ナルコトハ。稱賛シ盡ガタシ。獨リ英國諸嶋後來地學ノ圖ノ基礎トナルノミナラズ。全世界ノ地學ノ法則ヲ立タリ。一人ノ力ヲ以テ。カクノ如キ大發明ヲ爲タルコト。豈驚ベキ事ナラズヤ。斯密士一千八百三十九年天保没セリ。論者贊シテ曰。今ヨリ後。察地學ニ於テ。斯密士ト肩ヲ比ベキ大發明ヲ爲ス人。世ニ出ベシヤ否ヤ。真ニ其人ヲ見ザルウチハ。コノ疑。解ガタシ。

斯密士瑣々タル小物ト雖。精密ニコレヲ觀察シ。決シテ忽ニセズ。新シキ實事ヲ集ムル機會アレバ。コレヲ拿住シ。決シテ遺失スルコトナシ。常ニ紙筆ヲ携ヘ。自然ノ物。或ハ人工ノ物ヲ圖寫シテ彩色ヲ加タリ。ソノ觀察ノ事ニ熟慣スルコト次ニ載ル小話ニテモ知ベシ。斯密士嘗テダンステイブルノ白灰山ノ麓ニ於テ。畫ヲ寫シケル時。ソノ伴侶ニ向テ。コノ山足ノ碎塊ノ中ニ。シヤーク鯊魚ノ齒アルベシト言ケレバ。ソノ伴侶。コレヲ搜尋シタルニ。遠マデモ往ザル中ニ。果シテ六ノ齒ヲ拾得タリシトナリ。斯密士曰。觀察ノ事ハ。吾慣習トナリテ。吾心ニ住居ヲ占タリ。吾處々ニ行旅スルハ。コレヲ倣ガ爲ナリ。予常ニ圖本ヲ備テ出往キ。道上ニ於テ思想スルコトアレバ。コレヲ記錄セリ。蓋シ吾心ハ。画工ハ白布

ニ似タリソノ上ニ最初最善ノ覺感印記ヲ受ケンガ為ニ善ク備設タルモノナリト云リ。

⑤ 休彌爾列爾觀察ノオアル事

休彌爾列爾亦事物ヲ觀察スルノオアリテ。文藝學術ヲ熱心勉強スル人ナリ。ソノ著セル書ニマイ。スタイルス。エンド。マイ。マニス。ビ吾ノ學校及ト曰ルモノアリ。自ソノ平生ノ事ヲ談話スルモノニシテ甚ダ人ニ益アル書ナリ。蓋極卑極賤ノ地位ニ生テ真貴真榮ノ品行ヲ崇シタル人ノヒストリイ〔史録〕ニシテ。自助ケ自重ジ自倚頼スル教訓ヲ懇切ニ人ニ告モノナリ。彌爾列爾小兒ノ時ニ其父ハ水手ナリシガ海ニ溺死シ寡婦トナレル其母ニ育ル彌氏郷塾ニ於テ童子業ヲ學タレドソノ最善ノ師ハソノ僭ニ遊ブトコロハ諸童子ナリマ

タソノ僭ニ勞作スルトコロノ人ナリ。マタソノ僭ニ住スルトコロノ朋友親戚ナリ。彌氏書ヲ讀テ多シテ且雜レリ。ソノ智見ヲ零々細々ニ各種各方ヨリ集タリ。或ハ傭工ヨリ。或ハ木工ヨリ。或ハ漁師ヨリ。或ハ水手ヨリ。拾ヒ聚ムソノ中ニモ最モ古洛馬底ノ海岸ニ散布セル潮ニ齧タル古石ヨリ集タリ。又ソノ海賊ナリシ曾祖父ノ遺セル大槌ヲ持シテ石ヲ打削テミカ金星ポルフレイ紅斑ノガ子ト晶等ノ式様ヲ貯ルヲ務タリ。年長ズルニ及デソノ好ル職業ヲ擇ビ石匠ノ徒弟トナリテ古洛馬底ノ採石礦ニアリテ工事ヲ作ケルガコノ採石礦實ニ彌氏ノ爲ニ最善ノ學校トナリタリ。譬バ礦ノ門戸下ハ深赤石ニシテ上ハ淺赤坭ナルガ如キ彌氏一見シテコレニ着意セリ。スベテ他人ノ一

物ヲモ見ザル中ニ於テ。彌氏ハ觀察スル物ヲ看出シ。相比  
 較シ分別シテ。コレヲ思量セリ。蓋彌氏常ニ眼目ヲ着ケ心  
 思ヲ開。一ヲ務メ。又ソノ行節儉ニシテ酒ヲ好マズ。勤勉忍  
 耐ナリ。ソノ才智ノ生長スル所以ノ秘傳ハ。特ニコレニ由  
 ノミ。彌氏好デ魚類蕨類貝類ノ化石スルモノヲ集メ。或ハ  
 コレヲ海波ノ洗出ニ由テ得。或ハソノ鏈ノ下ニ顯ルニ由  
 テ得タリ。カクシテ。多年ノ間。觀察比較思量ノ功ヲ積ケル  
 ガ。遂ニ其有名ナル書「イールド・レッド・サンドストーン」ト云ルモノヲ  
 著シ。博識ナル察地學者ト。世ニ稱セラレタリ。實ニ此書ハ。  
 多年忍耐シテ觀察搜求スルモノノ結ル菓實ナリ。彌氏自  
 ラ傳ヲ作。テ曰。余コノ學ニ於テ志トコロヲ達セシハ。特ニ  
 堅忍耐久ノ功ニ頼リ。誰ニテモ堅忍耐久ニ由テ我ニ及ベ

ク。又我ニ超過スベキナリ。コノ堅忍耐久ハ。鈍下ナル才質  
 ラシテ。卓絶ノ事業ヲ成シ。英才ノ人ニ化セシムルモノナ  
 リト云リ。

斯邁爾斯自助論第五編終

東京

日本橋一町目

須原屋茂兵衛

芝神明前

岡田屋嘉七

淺草茅町貳町目

須原屋伊八

小石川傳通院前

鴈金屋清吉

大傳馬町三町目

袋屋龜次郎

静岡

江川町

本屋市藏

七間町三町目

須原屋善藏



書

肆

早稲田大学図書館

011888004710